

黒木小スタイルⅠ「単元全体の授業の流れ」

		説明的教材の指導 □:全学年共通, ◇:中学年の力点, ◎高学年の力点
つかむ	第一次	<input type="checkbox"/> 教材への興味づけ <input type="checkbox"/> 説明内容の予想 <input type="checkbox"/> 初めて知ったこと, 疑問に思ったこと <input type="checkbox"/> 意味調べなどの書き込み(自主学習)
わかる・できる (読み取る)	第二次	<input type="checkbox"/> 教材を読み深める <input type="checkbox"/> 「問い」の文と「答え」の文を見つける ◇要点をまとめる ◇文章構成図をかく ◎要旨をまとめる ◎説明のわかりやすさ, わかりにくさについて話し合う。
表現できる	第三次	<input type="checkbox"/> クイズをつくる <input type="checkbox"/> 他の本や文章を読む <input type="checkbox"/> 筆者への手紙を書く ◎筆者の意見について, 自分の考えを書く

		文学的教材の指導 □:全学年共通, ◇:中学年の力点, ◎高学年の力点
つかむ	第一次	<input type="checkbox"/> 教材への興味づけ <input type="checkbox"/> 印象に残った言葉や文についての話し合い <input type="checkbox"/> 作品設定, 表現技法の書き込み(自主学習)
わかる・できる (読み取る)	第二次	<input type="checkbox"/> 教材を読み深める <input type="checkbox"/> 作品の設定をとらえる <input type="checkbox"/> 中心人物を見つける ◇中心人物の心情の変化をとらえる ◎主題文を書く, 主題をまとめる
表現できる	第三次	<input type="checkbox"/> 動作化 <input type="checkbox"/> ペープサート劇, 音読発表会 <input type="checkbox"/> 他の本や文章を読む <input type="checkbox"/> アフターストーリーを考える

黒木小スタイルⅡ「1単位時間の授業の流れ①」(説明文:最初からわたりあり)

学習活動 A学年(2・4・6年) ●留意事項	時間	過程	わたり	過程	時間	学習活動 B学年(1・3・5年) ●留意事項
①復習問題をする。 既習事項を応用・活用した問題を解く。 (①本時に学習する範囲を音読し、意味調べ、段落のキーワード調べなどを行う。) ●本時に関係する学習内容を復習する。または、前時まで学習した内容を用いて解決できる問題を解かせる。	十分	復習・活用 表現できる		課題把握 つかむ	十分	①問題を理解する。 提示された問題について、読みとるべき内容、学習方法について把握する。 ②めあてをつかむ。 本時の学習のめあてをつかむ。 ●本時の問題解決が説明文を読み取るうえで、どのような力を高めることにつながるのかを押さえる。
②問題を理解する。 提示された問題について、読みとるべき内容、学習方法について把握する。 ③めあてをつかむ。 本時の学習のめあてをつかむ。 ●本時の問題解決が説明文を読み取るうえで、どのような力を高めることにつながるのかを押さえる。	十分	課題把握 つかむ		自力解決 わかる	十分	③ガイドの指示により、問題に対する自分の考えを書き表す。 ④ガイドの司会で、それぞれの児童の意見を伝え合う。 ④ガイドの司会で、グループで考えた意見をまとめる。 ●ノートやワークシートに書かれたことを発表するだけでなく、黒板に記録させたり、文カードを操作させるなどの工夫をする。
④ガイドの指示により、問題に対する自分の考えを書き表す。 ⑤ガイドの司会で、それぞれの児童の意見を伝え合う。 ⑤ガイドの司会で、グループで考えた意見をまとめる。 ●ノートやワークシートに書かれたことを発表するだけでなく、黒板に記録させたり、文カードを操作させるなどの工夫をする。	十分	自力解決 わかる		全体確認 できる	十分	⑤教師と児童の対話を中心として、読みとったことの確認をするとともに、「説明文の読み方」の中で何ができるようになったのかを確認する。 ●説明内容の理解だけではなく、説明方法や論理のよさを感じ得できるようにする。
⑥教師と児童の対話を中心として、読みとったことの確認をするとともに、「説明文の読み方」の中で何ができるようになったのかを確認する。 ●説明内容の理解だけではなく、説明方法や論理のよさを感じ得できるようにする。	十分	全体確認 できる		まとめ・練習 表現できる	十分	⑥本時で読み取ったことの振り返りを行い、既習事項を応用・活用した問題を解く。
⑦本時の学習で「わかったこと」「できるようになったこと」などを異学年の児童に伝える。	五分	ふりかえる (交流)		ふりかえる (交流)	五分	⑦本時の学習で「わかったこと」「できるようになったこと」などを異学年の児童に伝える。

7 本時の学習活動 (1 / 6)

(1) 本時の目標

○学習の見通しを立て、筆者が何について述べようとしているのかをとらえることができる。

(2) 本時で検証すること

○説明文における筆者の述べたいことの内容を要旨ということを示し、要旨をまとめて意見交流するという活動のゴールイメージをもたせることで、単元全体の学習の見通しを持つことができるか。

(3) 本時の展開

…間接

7 本時の学習活動 (1 / 6)

(1) 本時の目標

○学習課題をつかみ、学習の見通しを立てることができる。

(2) 本時で検証すること

○疑問文である題名とモアイ像の写真とリード文を関係づけることで、文章の内容を想像しやすくなり、文章を読む意欲を高めることができるか。

…直接

第5学年		第6学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 本時のめあてを確認する。	○ガイドシートを準備しておく。 ○CDの準備をしておく。	○ガイドシートを準備しておく。 ○CDの準備をしておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> めあて「動物の体と気候」の学習計画を立てよう。 </div> ○題名と写真を手がかりに、動物の体について知っていることを発表させる。動物の住んでいる環境も意識させていく。 ◎動物の体について知っていることはありますか。 ◎その動物は、どんな所にすんでいますか。 ○ 形式段落の始まりは、一字下げになっていることを確認してから聞かせる。教科書P43を参照する。	2 題名と写真から、教材文の内容を想像する。 ・ゾウは、長い鼻で川やオアシスの水をすいこんで水を飲む。ゾウは水の少ない乾燥地帯に住んでいる。 3 音声教材CDによる判読を聞き（聞きながら 形式段落番号をふ る）、新出漢字や読み替の漢字についてドリルやスキルを用いて確認する。 4 初発の感想を交流する。	1 音声教材CDによる判読を聞き（ 聞きながら形式段落番号をふ る）、新出漢字や読み替の漢字についてドリルやスキルを用いて確認する。 2 めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> めあて「イースター島にはなぜ森林がないのか」の学習計画を立てよう。 </div> 3 題名と写真と下の文から、説明されている内容についてイメージを広げる。 4 教科書P41の学習の手引きを参照し、学習課題を確認、単元の見通しを持つ。 ・題名に「なぜ」と書かれているから、本文にその答えがあるのでは。 5 初発の感想を書く。	○モアイ像と並べて、ピラミッドやナスカの地上絵といった巨大遺跡の話題を出し、児童の興味・関心を高める。 ◎「イースター島にはなぜ森林がないのか」では、どんなことが説明されているのでしょうか。 ○感想を持つための視点を示す。 ①分かったこと ②気づいたこと ③疑問点 この視点に沿って、ワークシートやノートに感想を書く。
	つかむ	表現できる	
	つかむ	つかむ	
	わかる	わかる	
	できる	できる	

<p>適応しながら生きてい る。」</p>	<p>6 新出漢字や読み替え の漢字についてドリル やスキルを用いて練習 する。</p>	<p>→ ■ 表現 できる</p>	<p>6 書いた感想を伝え合 う。</p>	
---------------------------	--	---------------------------	---------------------------	--

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
5年	<p>学習の見通しを立て、筆者が何について 述べようとしているのかをとらえること ができる。(ワークシート・観察)</p>	<p>説明文における筆者の述べたいことの中 心を要旨ということを示し、要旨をまと めて意見交流するという活動のゴールイ メージをもたせる。</p>	<p>文中の記述を引用したり、写真を示 して自分なりの感想を述べることが できる。</p>
6年	<p>教材文について関心をもち、単元全体の 学習活動に見通しを持つとともに感想を もつことができる。(ワークシート・観 察)</p>	<p>疑問文である題名とモアイ像の写真と リード文を関係づけることで、文章の内 容を想像しやすくする。</p>	<p>文中の記述を引用したり、写真を示 して自分なりの感想を述べることが できる。</p>

7 本時の学習活動 (2 / 6)

(1) 本時の目標

○全文を読んで文章全体を序論・本論・結論に分け、本論をさらに3つに分けることができる。

(2) 本時で検証すること

○これまで「はじめ」「中」「終わり」に分けてきたことを想起させるにより、本文を3つのまとまりに分け、本論の内容も3つに分けることができるか。

(3) 本時の展開

…間接

7 本時の学習活動 (2 / 6)

(1) 本時の目標

○全文を読んで文章全体を序論・本論・結論に分け、序論の内容を読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること

○序論・本論・結論の典型的な文章を示すことにより、本文を3つのまとまりに分け、序論の内容を読み取ることができるか。

…直接

第5学年		第6学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
<p>○ガイドシートを準備しておく。</p> <p>※家庭学習で、形式段落番号はつけさせておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 文章全体を5つのまとまりに分けてとらえよう。</p> </div> <p>○読みの視点として、 ①「はじめ」「中」「終わり」のように大きく3つに分けられること。 ②序論：最初的话题を提示している部分。 本論：中の詳しい内容を述べた部分 結論：本論をうけてまとめている部分 ということを示す</p> <p>○キーワードや接続語に注意しながら3つの意味段落に分けられることを押さえる。 本論1:「体形」 本論2:「体格」 本論3:「毛皮」</p> <p>◎本論の3つのまとまりでは、動物の何と気候の関係が説明されていますか。なるべく短い文で書きましょう。</p> <p>○「動物の○○と気候の関係」という型を示し、短い文でまとめさせる。</p> <p>◎序論に書かれていることをなるべく短い文で書きましょう。 ・それぞれの環境に適応して生きる動物たち</p>	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 読むときの視点を意識して全文を通読し、本文を序論・本論・結論の大きな3つのまとまりに分ける。</p> <p>3 本論部分を3つのまとまりに分ける。</p> <p>4 本論の3つのまとまりでは、どのような内容が書かれているかを1文でまとめる。</p> <p>5 序論から本論(3つのまとまり)までの4つの意味段落について小見出しで表し、書かれている内容をとらえる。</p>	<p>1 前時に書いた、初発の感想を発表する。</p> <p>2 めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 文章を序論・本論・結論の3つに分けて、序論の内容を整理しよう。</p> </div> <p>※家庭学習で、形式段落番号はつけさせておく。</p> <p>3 全文を通読し、文章全体を「序論」「本論」「結論」の3つのまとまりに分ける。</p> <p>4 序論の内容を読み、イースター島に関して、どんな事実が述べられているかをとらえる。</p> <p>・現在はほとんど森林がない。 ・以前は島全体が森林におおわれていた。</p> <p>5 次時は、人類の上陸が、どのように森林の破壊につながったかを読み取ることを確認し、本時の学習で分かったことや考えたことをノートにまとめる。</p>	<p>○ガイドシートを準備しておく。</p> <p>○自分の経験や知識とつなげることで、イースター島に対する興味・関心を高める。</p> <p>○本文を読ませる前に、「時代を表す言葉」「文をつなぐ言葉」を手がかりに分けることを伝える。 序論:①② 本論:③～⑭ 結論:⑮～⑰</p> <p>◎イースター島とは、どんな島なのでしょうか。</p> <p>○地理的な情報や森林の様子を読み取らせる。(地図や小豆島の地図を用いて、位置・大きさを捉えさせる。) ○以前:「人類が上陸する前」</p>

	6書かれた小見出しを確認し、今日の学習を振り返る。	表現できる	表現できる	
--	---------------------------	-------	-------	--

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿（手立て）
5年	全文を読んで文章全体を序論・本論・結論に分け、本論をさらに3つに分けることができる。（ワークシート・観察）	これまで「はじめ」「中」「終わり」に分けてきたことを想起させる。	本文を3つのまとまりに分けるのに加えて、意味段落のまとまりに小見出しをつけることができる。
6年	全文を読んで文章全体を序論・本論・結論に分け、序論の内容を読み取ることができる。（ワークシート・観察）	序論・本論・結論の典型的な文章を示す。	文中の言葉や文をいくつか引用し、本時の学習で考えたことを述べるることができる。

7 本時の学習活動 (3 / 6)
 (1) 本時の目標
 ○文章の内容と構成を読み取り、文章構成図に整理することができる。

(2) 本時で検証すること
 ○文章全体をまとめたものと本論部分だけをまとめたものの2種類を用意することにより、文章の組み立てを捉えることができるか。

(3) 本時の展開

7 本時の学習活動 (3 / 6)
 (1) 本時の目標
 ○本論の内容を正しく読み取り、筆者の論の展開をとらえることができる。

(2) 本時で検証すること
 ○文末表現の違いに着目させることにより、事実と意見とを区別しながら文章を正しく読み、筆者の論の進め方をとらえることができるか。

…間接

…直接

第5学年		第6学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
<p>○ガイドシートを準備しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて「動物の体と気候」の文章構成図を作ろう(その1)</p> </div> <p>○まず本論の3つのまとまりの内容を読み取り、どのような組み立てで書かれているかを捉えることをおさえる。 ○読みの視点として、それぞれの段落が、 ①「一般的事実」 ②「理由や説明」 ③「具体例」 のどれかにあたることを示しておく。 ○①～③は、必ずしも同じ順に書かれているわけではないことも伝えておく。</p> <p>○「一般的事実」「理由や説明」「具体例」のフラッシュカードを4セット作っておく。</p> <p>○児童が掲示したものを確認する。</p>	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。</p> <p>2 読むときの視点を意識して本論(②～③段落)を音読し、各段落が「一般的事実」「理由・説明」「具体例」のどれにあたるのかを確認する。 ※サイドラインやシールなどで色分けする工夫もできる。</p> <p>3 本論部分の各段落の内容を確認する。(グループで確認し、黒板に掲示する)</p>	<p>1 本論部分③～④段落を音読する。(一斉音読・リレー音読)</p> <p>2 めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて イースター島に森林がない理由を読み取り、筆者の論の進め方について考えよう。</p> </div> <p>3 ③段落の課題提示文を視写し、尾括型の文章の効果を考えさせる。</p> <p>4 本論部分を3つのまとまりに分け、それぞれの内容を確認しながら読み取る。</p> <p>5 筆者の論の進め方を吟味する。</p>	<p>○ガイドシートを準備しておく。</p> <p>○「イースター島の森林は、この地に移り住んだ人々が森林を切りひらき、ラットがヤシの実を食べてしまったために失われてしまった。このようになってしまった原因や経過をくわしく見てみよう。」(頭括型)と比較させ、謎を解き明かすような展開になっていることに気づかせる。</p> <p>○イースター島の森林が失われた原因や経緯をまとめるワークシートを準備する。</p> <p>○④段落「このようにして」に着目させ、④段落が森林破壊の原因についてのまとめの段落であることを押さえる。</p> <p>○筆者の「事実」と「推</p>

つかむ

表現できる

わかる

わかる

できる

<p>○次時は、文章全体の構成を考え、筆者の最も伝えたいことがどこに表れているかを確認することを伝える。</p>	<p>5 確認した内容を踏まえて、本論部分を黙読する。</p>	<p>■ ← できる</p> <p>→ ■ 表現できる</p>	<p>6 筆者の論の進め方について、「納得できる」「納得できない」の立場をはっきりさせて、自分の考えをノートに書く。</p>	<p>論」を根拠として進められる筆者の論理展開について自分がどれくらい納得できているかを考える。</p> <p>○納得できた(できなかった)部分について、文章中の記述を根拠として示すように伝える。</p>
--	---------------------------------	---------------------------------	--	--

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体的評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿(手立て)
5年	文章の内容と構成を読み取り、文章構成図に整理することができる。(ワークシート・観察)	文章全体をまとめたものと本論部分だけをまとめたものの2種類を用意することにより、文章の組み立てを捉えやすくする。	各段落の記述を的確にとらえて、助言なしに分類することができる。
6年	本論の内容を正しく読み取り、筆者の論の展開をとらえることができる。(ワークシート・観察)	文末表現の違いに着目させることにより、事実と意見とを区別しながら文章を正しく読み、筆者の論の進め方をとらえやすくする。	筆者の論の進め方について、本文の表現を引用しながら自分の考えを述べるることができる。

- 7 本時の学習活動 (4 / 6)
- (1) 本時の目標
○文章の内容と構成を読み取り、文章構成図に整理することができる。
- (2) 本時で検証すること
○文章全体をまとめたものと本論部分だけをまとめたものの2種類を用意することにより、文章の組み立てを捉えることができるか。
- (3) 本時の展開

- 7 本時の学習活動 (4 / 6)
- (1) 本時の目標
○文章の要旨と筆者の主張をとらえ、それに対する自分の考えを述べるすることができる。
- (2) 本時で検証すること
○筆者の主張に対して「賛成」「反対」のどちらかであるかをペンで色分けすることで、筆者の主張に対する自分の考えが形成できるか。

…間接

…直接

第5学年		第6学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	○ガイドシートを準備しておく。 ○読む前に、筆者の考えが読み取れる部分にサイドラインを引くことを伝える。	○ガイドシートを準備しておく。 ○読む前に、筆者の考えが読み取れる部分にサイドラインを引くことを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> めあて 「動物の体と気候」の文章構成図を作ろう(その2) </div> ○まず、序論と結論の照応関係を押さえる。 ○次に、本論①②③が並列的な関係となることを押さえる。 ○確認したことをもとにして、児童と問答しながら文章構成図を書いていく。 ◎筆者が一番伝えたいことが最も強く表れているのは、どこでしょうか。 ◎筆者の考えが最も強く表れている部分はどこなのかを確かめ合いました。	2 文章全体の構成を考えて、文章構成図を作る。 3 文章構成図にまとめたものを手がかりに、筆者の伝えたいことが最も強く表れているところを考える。 ・結論の部分 ・最後の段落 ・自然が作り上げてきた最高傑作・・・のところ 5 筆者の考えが最も強く表れているところについて、グループで確認する。 6 今日の学習を振り返る。	1 筆者の考えを確かめるために、全文を音読する。(一斉音読・リレー音読) 2 めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> めあて 筆者の要旨と筆者の主張をまとめ、それに対する自分の考えを交流しよう。 </div> 3 結論部分(25②6②7段)にある、筆者の主張を確かめる。 5 筆者の主張に対する、自分の意見や感想を書く。 ・筆者は人類の未来を考えることが大切であることを説明するために… ・今の自分の行動が、未来の子孫の存続に本当につながっているのか、よく考えてみたい。 6 筆者の主張に対する自分の考えを伝え合う。	【筆者の主張】今後の人類の存続は、子孫に思いをめぐらす文化を築けるかどうかにかかっている。 ○前時に整理した事実と、そこから導き出された筆者の主張とのつながりを明確にしながらい旨をまとめさせる。 ○本文の部分をとらえ、経験や知識とつなげて考えることを示す。 ○筆者の主張に対して「賛成」か「反対」かを明確にするため、色ペンでサイドラインを引かせる。 ◎筆者の主張に対して「賛成」か「反対」かの立場をはっきりさせて、自分の考えを伝え合いました。
	つかむ	つかむ	
	わかる	わかる	
	できる	できる	
	表現	表現	

で
き
る

で
き
る

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体的評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
5年	文章の内容と構成を読み取り、文章構成図に整理することができる。(ワークシート・観察)	文章全体をまとめたものと本論部分だけをまとめたものの2種類を用意することにより、文章の組み立てを捉えやすくする。	各段落の記述を的確にとらえて、筆者の主張点を判別することができる。
6年	文章の要旨と筆者の主張をとらえ、それに対する自分の考えを述べることができる。(ワークシート・観察)	筆者の主張に対して「賛成」「反対」のどちらかであることをペンで色分けさせることで自分の立場をはっきりさせる。	本文の言葉を引用しながら、筆者の主張に対する自分の考えを述べるることができる。

- 7 本時の学習活動 (5 / 6)
- (1) 本時の目標
○文章全体の要旨をまとめ、伝え合うことができる。
- (2) 本時で検証すること
○「動物の体」「環境に」などの書き出しの言葉を示すことにより、文章全体の要旨をまとめることができるか。
- (3) 本時の展開

- 7 本時の学習活動 (5 / 6)
- (1) 本時の目標
○筆者の主張に対する自分の考えを、攻勢を意識して書くことができる。
- (2) 本時で検証すること
○構成メモをもとに「頭括型」「尾括型」「双括型」の違いを考えさせることにより、自分の考えを明確にして文章に表すことができるか。

…間接

…直接

第5学年		第6学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	1 前時に交流した自分の考えを想起する。	○ガイドシートを準備しておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 文章の要旨をまとめ、伝え合おう。</div>		2 めあてをつかむ。	◎筆者の考えに「賛成」「反対」と判断する根拠はどこに書かれているでしょうか。
○要旨をまとめる視点として、 ①序論と結論の照応をふまえながら、キーワードを探し出し、そのキーワードを使ってまとめること。 ②文章構成図を参考にしながら考えること。 ③どれくらいの分量でまとめるか考えることを伝える。	2 文章全体の要旨をまとめる。	3 考えを述べるための根拠を決めて構成メモを書く。	○構成メモ(ワークシート)を用意しておく。
○文字数が決まらない場合は、短いものと長いものの目安の文字数を伝える。		4 構成メモをもとに、文章を書く。	○「考えを書く視点」「構成の工夫」「文章表現の工夫」に関わる資料を提示してから書かせる。
○書き出しでつまづいている児童には、「動物の体は」「環境に」という書き出しを示し、その言葉に続けて書くようにする。		5 書いた文章が自分の考えを明確に表しているか推敲する。	○構成メモを活用して書くように指導する。
○これまでの学習でまとめた「意味段落の見出し」「文章構成図」と照らし合わせて、筆者の伝えたいメッセージがまとめられているかを確認する。	3 書き上げた要旨を見直す。		○文章が書きあがったら、次のような観点から読み返させる。 ①筆者の主張や述べ方に対する自分の考えが書けたか。 ②自分の考えを経験や知識などを根拠にして説明できたか。 ③教科書の文章中の言葉を取り上げて(引用して)書いているか。 ④文章全体の構成を意識して、自分の考えを表現できたか。

	4 要旨を発表する練習を行う。	→	■	6 本時の学習を振り返る。	◎今日の学習で分かったことや、できるようになったことをノートにまとめましょう。
		表現できる	表現できる		

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
5年	文章全体の要旨をまとめ、伝え合うことができる。(ワークシート・観察)	「動物の体」「環境に」などの書き出しの言葉を示すことにより、文章全体の要旨をまとめやすくする。	本文から読み取ったことに加えて、自分の経験や知識を織り交せて感想を述べることができる。
6年	筆者の主張に対する自分の考えを、攻勢を意識して書くことができる。(ワークシート・観察)	構成メモをもとに「頭括型」「尾括型」「双括型」の違いを考えさせる。	筆者の主張や述べ方に対して、自分の経験や知識も根拠として考えを述べることができる。

7 本時の学習活動 (6 / 6)
 (1) 本時の目標
 ○文章全体の要旨をまとめ、伝え合うことができる。

(2) 本時で検証すること
 ○「動物の体」「環境に」などの書き出しの言葉を示すことにより、文章全体の要旨をまとめることができるか。

(3) 本時の展開

7 本時の学習活動 (6 / 6)
 (1) 本時の目標
 ○書いた文章を読み合って、互いの考え方や説明の工夫に対する感想を伝えることができる。

(2) 本時で検証すること
 ○初めの読みと比較させたり学習への取り組みを想起させたりすることにより、互いの考え方や説明のよさについて伝え合うことができるか。

…間接

…直接

第5学年		第6学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	○ガイドシートを準備しておく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 文章の要旨をまとめ、伝え合おう。</div> <p>◎お互いの要旨を読み比べて、ちがうところと同じところ(似ているところ)を確かめましょう。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 書いた文章を読み合って、互いの考え方や説明のよさについて感想を伝え合おう。</div>	
○交流したことを活かして、友達が用いていた表現を自分の要旨に取り入れたり、友達が引用していた本文の言葉や文を自分も引用したりするなどの工夫を加えて、さらにわかりやすい要旨にすることを押さえる。	2 ペアで書いた要旨を交流し、その後クラス全体で交流する。	○書いた文章を読み返した時の視点 ①筆者の主張や述べ方に対する自分の考えが書けたか。 ②自分の考えを経験や知識などを根拠にして説明できたか。 ③教科書の文章中の言葉を取り上げて(引用して)書いているか。 ④文章全体の構成を意識して、自分の考えを表現できたか。	○書いた文章を読み返した時の視点 ①筆者の主張や述べ方に対する自分の考えが書けたか。 ②自分の考えを経験や知識などを根拠にして説明できたか。 ③教科書の文章中の言葉を取り上げて(引用して)書いているか。 ④文章全体の構成を意識して、自分の考えを表現できたか。
	3 個々でまとめた要旨をもう一度見直し、より分かりやすく、筆者の伝えたいメッセージが明確な要旨にまとめ直す。	3 自分の考えを書いた文章をグループで交流し、互いに読み合う。	を基に、友達の考えが、「どこに」「どのように」表されているのかを評価し合うように意識させる。
	4 まとめ直した要旨と教材文を読み、文章の構成(筆者の論の進め方)と要旨の関係について確かめる。	4 考え方や説明のよさについて、感想を伝える。	○ここでの「よさ」とは、 ①友達の考えが明確に書かれているか。 ②考えの根拠が効果的に説明されているか。 ということであることを伝える。 ○児童一人ひとりの文章に評価カードを添付して回し読みをし、読み終えたら感想や意見を書く。

<p>◎今回の学習を通して、わかったことやできるようになったことをノートに書いて確かめましょう。</p>	<p>5 単元全体の学習をふりかえり、わかったことや身についた力を確かめる。</p>	<p>■ ← → ■ 表現できる</p>	<p>5 友達からの感想をもとに、自分の文章の考え方や述べ方について考え、単元の学習を通して身についた力や課題を整理する。</p>	<p>◎今回の学習を通して、わかったことやできるようになったこと、今後高めていきたい力をノートに書いてまとめましょう。</p>
--	--	------------------------------	---	---

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体的評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
5年	文章全体の要旨をまとめ、伝え合うことができる。(ワークシート・観察)	「動物の体」「環境に」などの書き出しの言葉を示すことにより、文章全体の要旨をまとめやすくする。	単元全体の学習を通して身についた力を学習用語を用いて述べるができる。
6年	書いた文章を読み合って、互いの考え方や説明の工夫に対する感想を伝えることができる(ワークシート・観察)	初めの読みと比較させたり学習への取り組みを想起させたりすることにより、互いの考え方や説明のよさに気づかせる。	単元全体の学習を通して身についた力や今後の課題を自分の言葉で述べるができる。

今回の高学年の指導では、ワークシートについては東京書籍から配布されている「ワークシート集」を使って指導を行った。

指導案の形式については、中学年版の形式を参考されてください。